

~~~~~  
**雑 報**  
 ~~~~~

Explanatory Supplement to the A.E. 第3版の刊行

Explanatory Supplement to the Astronomical Ephemeris and the American Ephemeris and Nautical Almanac は、英暦 Astronomical Ephemeris および米暦 American Ephemeris and Nautical Almanac (両者を共通に A.E. と略記する) の推算・編集の根拠、使用法等をかかなり詳しく解説したもので、英米暦の内容が統合された翌年、つまり 1961 年にグリニジ天文台・アメリカ海軍天文台共編で刊行された。その第3版が昨年 11 月に刊行されたが、これは初版の必要最小限の増補版であって、内容には全く手加えられていない。というのは、今年 8 月の IAU 総会で、天文定数系の改訂、暦の推算方法の変更等が採択されることになっているからであって(本誌 68 巻 2 号 50 ページの青木信仰氏の解説記事参照)、これに伴いこの Explanatory Supplement も根本的に書き直さなければならない。今回の第3版の刊行は、それまでの暫定措置である。

その内容は 3 部に大別できる。すなわち 1~496 ページは初版全体をそのまま複写したもので、必要に応じ各ページの脚注として、現在の天文定数系(1964 年系)の

導入に伴う変更、掲載ページの変更等が簡単に記されている。ただ $4T$ の数値と図(90, 91 ページ)だけは新しいデータに改めてある。続いて 497~521 ページは 1968 年の A.E. の巻末付録の複写であり、これは 1964 年系導入に伴う暦の変更の説明である。最後の 522, 523 ページは、文献の追加および本文の脚注に盛り切れなかった追加注記事項が列記してある。しかし記述はきわめて簡単であり、これだけでは 1960 年以降に実施された推算法の変更を具体的に知ることはできない。

編者 H.M. Nautical Almanac Office of the Royal Greenwich Observatory および Nautical Almanac Office of the U.S. Naval Observatory.

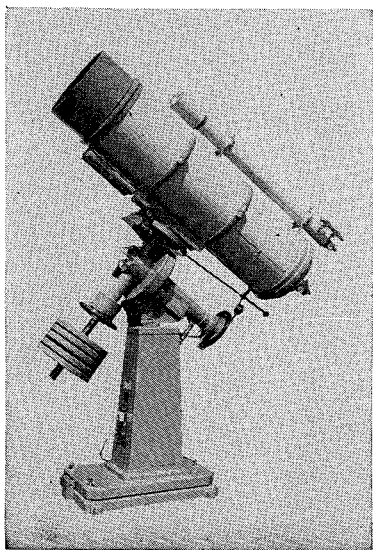
発行所 H.M. Stationary Office, 49 High Holborn, London WC1V 6HB, U.K.

価格(英貨) 3.20 ポンド.

(進士 晃)

白昼観測された WEST (1975 n) 彗星

2 月号で予報したこの彗星は、近日点通過直前の夕方西天低く見え、また通過後の 2 月 26 日と 27 日の昼ごろ日本平天文台の浦田武氏が 10 cm と 20 cm 機で核を観測した。3 月に入ると明け方の東天に大きく扇形に伸びた尾を見せているのが各地で観測された。(香西洋樹)



天体望遠鏡
ドーム、製作

西村製の天体望遠鏡

40 cm 反射望遠鏡の納入先

- | | |
|--------|---------------------|
| No. 1 | 富山市立天文台 |
| No. 2 | 仙台市立天文台 |
| No. 3 | 東京大学 |
| No. 4 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 5 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 6 | 台北天文台 (TAIWAN) |
| No. 7 | 北イリノイズ大学 (USA) |
| No. 8 | サン・チェゴ大学 (USA) |
| No. 9 | 聖アンドリウス大学 (ENGLAND) |
| No. 10 | 新潟大学高田分校 |
| No. 11 | ソウル大学 (KOREA) |
| No. 12 | 愛知教育大学(刈谷) |
| No. 13 | 静岡大学 |

606 京都市左京区吉田二本松町 27

株式会社 **西村製作所**

TEL. (075) 771-1570
691-9580